この屈辱と怒りを!

ここ駒場に於ては、全学スト決行中である。すべての[illegible]駒場学友諸君、我々のキャンパスで、[illegible]バリケードを[illegible]のだ。我々の[illegible]の場は[illegible]によって[illegible]されている。このバリケードは、我々の屈辱と怒りの表明なのだ。我々は、このキャンパスを我々自身の手に[illegible]しなければならなかったのだ。諸君、このような屈辱的行為に追い込んだのは、それは、あの古い体制ではないのか。古い体制における理事者達の[illegible]では屈辱ではないのか。我々のバリケードは、まさに[illegible]体制に依拠しようとするものなのだ。[illegible]のだ。すべての心ある学友諸君、我々はここにおいて真剣に理事者のストの[illegible]を考えなければならない。我々はこのストにおいて理事者までも[illegible]ねばならない。そして我々の掲げる要求書を[illegible]。すでにバリケードの中で、[illegible]的に我々の意識が高まっていくのだ。

我々は[illegible]に[illegible]の[illegible]的に[illegible]されたのではない。[illegible]で[illegible]。今[illegible]に[illegible]事が[illegible]的[illegible]に立て[illegible]のではないか。[illegible]に[illegible]であるから[illegible]。[illegible]に対して[illegible]の[illegible]であろう!

[illegible]今こそ[illegible]的な[illegible]は[illegible]に[illegible]ならない!

今こそ立て、真実をもとめる学友諸君!